

1. 次の和を求めよ。  $\sum_{k=1}^n (k-1)(k-5)$

3. 次の和を求めよ。  $\frac{1}{1 \cdot 4} + \frac{1}{4 \cdot 7} + \frac{1}{7 \cdot 10} + \dots + \frac{1}{(3n-2)(3n+1)}$

5. 次の数列の第  $k$  項を求めよ。また、初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  を求めよ。  
1, 1+2, 1+2+2<sup>2</sup>, ……

2. 和  $1 \cdot 1 \cdot 3 + 2 \cdot 3 \cdot 5 + 3 \cdot 5 \cdot 7 + \dots + n(2n-1)(2n+1)$  を求めよ。

4. 次の和  $S$  を求めよ。

$$S = 1 \cdot 1 + 2 \cdot 3 + 3 \cdot 3^2 + \dots + n \cdot 3^{n-1}$$

6. 次の数列の一般項と、初項から第  $n$  項までの和をそれぞれ求めよ。  
0, 5, 16, 33, 56, ……

7. 次の条件によって定まる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1=3, a_{n+1}-a_n=1$

(2)  $a_1=3, 2a_{n+1}=a_n$

9. 次の条件によって定まる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

(2)  $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+1$

10.  $n$  が自然数のとき、次の等式を数学的帰納法を用いて証明せよ。

$$1+4+7+\cdots+(3n-2)=\frac{1}{2}n(3n-1)$$

8. 次の条件によって定まる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。  $a_1=2, a_{n+1}=a_n+5^n$

11.  $n$  が自然数のとき、 $4n^3-n$  は 3 の倍数であることを数学的帰納法を用いて証明せよ。

1. 次の和を求めよ。  $\sum_{k=1}^n (k-1)(k-5)$

解答  $\frac{1}{6}n(n-1)(2n-13)$

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n (k-1)(k-5) &= \sum_{k=1}^n (k^2 - 6k + 5) = \sum_{k=1}^n k^2 - 6\sum_{k=1}^n k + \sum_{k=1}^n 5 \\ &= \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) - 6 \times \frac{1}{2}n(n+1) + 5n \\ &= \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) - \frac{18}{6}n(n+1) + \frac{30}{6}n \\ &= \frac{1}{6}n[(n+1)(2n+1) - 18(n+1) + 30] \\ &= \frac{1}{6}n(2n^2 - 15n + 13) = \frac{1}{6}n(n-1)(2n-13)\end{aligned}$$

2. 和  $1 \cdot 1 \cdot 3 + 2 \cdot 3 \cdot 5 + 3 \cdot 5 \cdot 7 + \dots + n(2n-1)(2n+1)$  を求めよ。

解答  $\frac{1}{2}n(n+1)(2n^2 + 2n - 1)$

これは、第  $k$  項が  $k(2k-1)(2k+1)$  である数列の初項から第  $n$  項までの和である。  
よって、求める和は

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n k(2k-1)(2k+1) &= \sum_{k=1}^n (4k^3 - k) = 4\sum_{k=1}^n k^3 - \sum_{k=1}^n k \\ &= 4\left(\frac{1}{2}n(n+1)\right)^2 - \frac{1}{2}n(n+1) \\ &= \frac{1}{2}n(n+1)[2n(n+1)-1] \\ &= \frac{1}{2}n(n+1)(2n^2 + 2n - 1)\end{aligned}$$

3. 次の和を求めよ。  $\frac{1}{1 \cdot 4} + \frac{1}{4 \cdot 7} + \frac{1}{7 \cdot 10} + \dots + \frac{1}{(3n-2)(3n+1)}$

解答  $\frac{n}{3n+1}$

これは、第  $k$  項が  $\frac{1}{(3k-2)(3k+1)}$  である数列の初項から第  $n$  項までの和である。

ここで、 $\frac{1}{(3k-2)(3k+1)} = \frac{1}{3}\left(\frac{1}{3k-2} - \frac{1}{3k+1}\right)$  であるから、求める和は

$$\begin{aligned}\frac{1}{3}\left(\frac{1}{1} - \frac{1}{4}\right) + \frac{1}{3}\left(\frac{1}{4} - \frac{1}{7}\right) + \frac{1}{3}\left(\frac{1}{7} - \frac{1}{10}\right) + \dots + \frac{1}{3}\left(\frac{1}{3n-2} - \frac{1}{3n+1}\right) \\ = \frac{1}{3}\left(1 - \frac{1}{3n+1}\right) = \frac{n}{3n+1}\end{aligned}$$

4. 次の和  $S$  を求めよ。

$$S = 1 \cdot 1 + 2 \cdot 3 + 3 \cdot 3^2 + \dots + n \cdot 3^{n-1}$$

解答  $\frac{(2n-1) \cdot 3^n + 1}{4}$

$$S = 1 \cdot 1 + 2 \cdot 3 + 3 \cdot 3^2 + \dots + n \cdot 3^{n-1}$$

$$\begin{aligned}3S &= 1 \cdot 3 + 2 \cdot 3^2 + \dots + (n-1) \cdot 3^{n-1} + n \cdot 3^n \\ \text{辺々を引くと} \quad S - 3S &= 1 + 3 + 3^2 + \dots + 3^{n-1} - n \cdot 3^n \\ \text{よって} \quad -2S &= \frac{1 \cdot (3^n - 1)}{3-1} - n \cdot 3^n = \frac{3^n - 1}{2} - n \cdot 3^n = \frac{3^n - 1 - 2n \cdot 3^n}{2} \\ &= \frac{(1-2n) \cdot 3^n - 1}{2} \\ \text{したがって} \quad S &= \frac{(2n-1) \cdot 3^n + 1}{4}\end{aligned}$$

5. 次の数列の第  $k$  項を求めよ。また、初項から第  $n$  項までの和  $S_n$  を求めよ。

$$1, 1+2, 1+2+2^2, \dots$$

解答 第  $k$  項  $2^k - 1$ ,  $S_n = 2^{n+1} - n - 2$

第  $k$  項は初項1, 公比2, 項数  $k$  の等比数列の和より

$$1 + 2 + 2^2 + \dots + 2^{k-1} = \frac{1 \cdot (2^k - 1)}{2-1} = 2^k - 1$$

$$\text{よって} \quad S_n = \sum_{k=1}^n (2^k - 1) = \sum_{k=1}^n 2^k - \sum_{k=1}^n 1 = \frac{2 \cdot (2^n - 1)}{2-1} - n = 2^{n+1} - n - 2$$

6. 次の数列の一般項と、初項から第  $n$  項までの和をそれぞれ求めよ。

$$0, 5, 16, 33, 56, \dots$$

解答 一般項  $3n^2 - 4n + 1$ , 和  $\frac{1}{2}n(n-1)(2n+1)$

与えられた数列を  $\{a_n\}$  とし、その階差数列を  $\{b_n\}$  とすると、 $\{b_n\}$  は  
5, 11, 17, 23,  $\dots$

よって、数列  $\{b_n\}$  は初項5, 公差6の等差数列であるから

$$b_n = 5 + (n-1) \times 6 = 6n - 1$$

ゆえに、 $n \geq 2$  のとき

$$\begin{aligned}a_n &= 0 + \sum_{k=1}^{n-1} (6k-1) = 6 \cdot \frac{1}{2}(n-1)n - (n-1) \\ &= 3n^2 - 4n + 1\end{aligned}$$

初項は  $a_1 = 0$  であるから、この式は  $n = 1$  のときにも成り立つ。

したがって  $a_n = 3n^2 - 4n + 1$

また、求める和を  $S_n$  とすると

$$\begin{aligned}S_n &= \sum_{k=1}^n a_k = \sum_{k=1}^n (3k^2 - 4k + 1) \\ &= 3 \cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) - 4 \cdot \frac{1}{2}n(n+1) + n \\ &= \frac{1}{2}n[(n+1)(2n+1) - 4(n+1) + 2] \\ &= \frac{1}{2}n(2n^2 - n - 1) \\ &= \frac{1}{2}n(n-1)(2n+1)\end{aligned}$$

7. 次の条件によって定まる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 3$ ,  $a_{n+1} - a_n = 1$

(2)  $a_1 = 3$ ,  $2a_{n+1} = a_n$

解答 (1)  $a_n = n+2$  (2)  $a_n = 3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

(1)  $a_{n+1} - a_n = 1$  より  $a_{n+1} = a_n + 1$  から  
数列  $\{a_n\}$  は初項3, 公差1の等差数列である。

したがって、一般項は  $a_n = 3 + (n-1) \times 1$  すなわち  $a_n = n+2$

(2)  $2a_{n+1} = a_n$  から  $a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n$

よって、数列  $\{a_n\}$  は初項3, 公比  $\frac{1}{2}$  の等比数列である。

したがって、一般項は  $a_n = 3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

8. 次の条件によって定まる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。  $a_1 = 2$ ,  $a_{n+1} = a_n + 5^n$

解答  $a_n = \frac{1}{4}(5^n + 3)$

条件より  $a_{n+1} - a_n = 5^n$

数列  $\{a_n\}$  の階差数列の第  $n$  項が  $5^n$  であるから、 $n \geq 2$  のとき

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 5^k = 2 + \frac{5(5^{n-1} - 1)}{5-1} = 2 + \frac{1}{4}(5^n - 5)$$

よって  $a_n = \frac{1}{4}(5^n + 3)$

初項は  $a_1 = 2$  であるから、上の  $a_n$  は  $n = 1$  のときにも成り立つ。

したがって、一般項は  $a_n = \frac{1}{4}(5^n + 3)$

9. 次の条件によって定まる数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

(1)  $a_1 = 1$ ,  $a_{n+1} = \frac{1}{3}a_n + 2$

(2)  $a_1 = 1$ ,  $a_{n+1} = 4a_n + 1$

解答 (1)  $a_n = -2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1} + 3$  (2)  $a_n = \frac{1}{3}(4^n - 1)$

(1) 漸化式を変形すると  $a_{n+1} - 3 = \frac{1}{3}(a_n - 3)$

$a_n - 3 = b_n$  とおくと  $b_{n+1} = \frac{1}{3}b_n$

よって、数列  $\{b_n\}$  は公比  $\frac{1}{3}$  の等比数列で、初項は

$$b_1 = a_1 - 3 = 1 - 3 = -2$$

数列  $\{b_n\}$  の一般項は  $b_n = -2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

したがって、数列  $\{a_n\}$  の一般項は、 $a_n = b_n + 3$  より  $a_n = -2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1} + 3$

(2) 漸化式を変形すると  $a_{n+1} + \frac{1}{3} = 4(a_n + \frac{1}{3})$

$$a_n + \frac{1}{3} = b_n \text{ とおくと } b_{n+1} = 4b_n$$

よって、数列  $\{b_n\}$  は公比 4 の等比数列で、初項は

$$b_1 = a_1 + \frac{1}{3} = 1 + \frac{1}{3} = \frac{4}{3}$$

$$\text{数列 } \{b_n\} \text{ の一般項は } b_n = \frac{4}{3} \cdot 4^{n-1} = \frac{1}{3} \cdot 4^n$$

$$\text{したがって、数列 } \{a_n\} \text{ の一般項は、 } a_n = b_n - \frac{1}{3} \text{ より } a_n = \frac{1}{3}(4^n - 1)$$

10.  $n$  が自然数のとき、次の等式を数学的帰納法を用いて証明せよ。

$$1 + 4 + 7 + \dots + (3n-2) = \frac{1}{2}n(3n-1)$$

解答 略

この等式を ① とする。

$$[1] \ n=1 \text{ のとき } (\text{左辺}) = 1, \quad (\text{右辺}) = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 2 = 1$$

よって、 $n=1$  のとき、① が成り立つ。

$$[2] \ n=k \text{ のとき } ① \text{ が成り立つ、すなはち}$$

$$1 + 4 + 7 + \dots + (3k-2) = \frac{1}{2}k(3k-1)$$

であると仮定すると、 $n=k+1$  のときの ① の左辺は

$$\begin{aligned} & 1 + 4 + 7 + \dots + (3k-2) + \{3(k+1)-2\} \\ &= \frac{1}{2}k(3k-1) + \{3(k+1)-2\} = \frac{1}{2}(3k^2 + 5k + 2) = \frac{1}{2}(k+1)(3k+2) \end{aligned}$$

$$\text{よって } 1 + 4 + 7 + \dots + \{3(k+1)-2\} = \frac{1}{2}(k+1)\{3(k+1)-1\}$$

ゆえに、 $n=k+1$  のときも ① が成り立つ。

[1], [2] から、すべての自然数  $n$  について ① が成り立つ。

11.  $n$  が自然数のとき、 $4n^3 - n$  は 3 の倍数であることを数学的帰納法を用いて証明せよ。

解答 略

$$[1] \ n=1 \text{ のとき } 4 \cdot 1^3 - 1 = 3$$

よって、 $n=1$  のとき、 $4n^3 - n$  は 3 の倍数である。

$$[2] \ n=k \text{ のとき } 4n^3 - n \text{ は 3 の倍数であると仮定する。}$$

このとき、整数  $m$  を用いて  $4k^3 - k = 3m$  と表され  $4k^3 = 3m + k$

$n=k+1$  のときを考えると

$$\begin{aligned} 4(k+1)^3 - (k+1) &= 4k^3 + 12k^2 + 11k + 3 \\ &= (3m+k) + 12k^2 + 11k + 3 \\ &= 3(m+4k^2 + 4k + 1) \end{aligned}$$

よって、 $n=k+1$  のときも  $4n^3 - n$  は 3 の倍数である。

[1], [2] から、すべての自然数  $n$  について  $4n^3 - n$  は 3 の倍数である。